

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理の他に、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次がサポートされます。

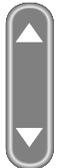
- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス

ボタンとハードウェアについて

次の図と表を使用して、電話機でボタンとハードウェアを識別できます。



91031

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	電話スクリーン	電話メニューおよびコール アクティビティ（発信者 ID、通話時間、コールの状態など）を表示します。	「アプリケーションメニューへのアクセス」(P.12)、「機能の Availability について」(P.12)
2	Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3	ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	—
4	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザのスピードダイヤルを表示します。	「アプリケーションメニューへのアクセス」(P.12)、「スピードダイヤル」(P.31)
5	アプリケーションメニュー ボタン 	表示されるアプリケーションメニューにより、ボイスメッセージシステム、履歴とディレクトリ、各種設定、サービス、およびヘルプにアクセスできます。	「アプリケーションメニューへのアクセス」(P.12)
6	保留ボタン 	アクティブなコールの保留、保留にしたコールの復帰、アクティブなコールと保留にしたコールの切り替えを行います。	「コールの保留と復帰」(P.19)
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	「基本的なコール処理」(P.15)
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」(P.49)
9	ライトストリップを備えたハンドセット	ハンドセットのライトストリップは、着信コールまたは新しいボイスメッセージがあることを示します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.65)
10	フットスタンド	デスクやテーブルの上で、電話機の角度を使いやすく調整できます。	—

回線と コール

回線とコールは、混同しやすい用語です。次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大6つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼び出し中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続中のコール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	保留されているコール	このコールが保留にされています。「 コールの保留と復帰 」(P.19)を参照してください。
	リモート コールの保留	共有回線の別の電話機がコールを保留にしました。「 コールの保留と復帰 」(P.19)を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。「 共有回線について 」(P.35)を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。「 コールの保留と復帰 」(P.19)を参照してください。
	認証済みコール	「 安全なコールの送受信 」(P.38)を参照してください。
	暗号化されたコール	「 安全なコールの送受信 」(P.38)を参照してください。

アプリケーションメニューへのアクセス

電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	必要な操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト ([メッセージ (Messages)]、[ディレクトリ (Directory)]、[設定 (Settings)]、[サービス (Services)]、および[ヘルプ (Help)]) を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、[選択 (Select)] を選択します。 または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了 (Exit)] を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了 (Exit)] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる (そしてアプリケーションメニューに戻る)	[終了 (Exit)] を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了 (Exit)] を押します。

ヒント

 を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。
 または [終了 (Exit)] を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合 (たとえば、新しいコールに応答する場合)、電話スクリーンが変わる場合がありますが  ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。

電話機のヘルプシステムへのアクセス

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には、包括的なオンラインヘルプシステムが用意されています。電話機のヘルプを表示するには、 を押して、[ヘルプ (Help)] を選択します。

機能の可用性について

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の可用性については、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP および SCCP について

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報 (Model Information)] > [コール制御プロトコル (Call Control Protocol)] を選択します。

省電力について

電話機は、Cisco EnergyWise プログラムをサポートしています。システム管理者は、節電のために電話機のスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。

オーディオアラートがシステム管理者によって有効になっている場合は、スケジュールされたスリープ時間の 10 分前に呼出音の再生が聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 7 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 4 分前に、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生されます。

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話機をアクティブな状態のまま保つには、電話機の任意のキーを押します。どのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がオフになることを通知するメッセージが表示されます。

スケジュールされた時間に、電話機の電源はオンになります。スケジュール時間よりも前に電話機を復帰させるには、管理者に連絡してください。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

